

第3回安曇野市行政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名.....第3回安曇野市行政改革推進委員会.....
2	日 時.....平成26年10月14日 午前10時から正午まで.....
3	会 場.....長野県安曇野庁舎3階第4会議室.....
4	出席者.....降旗会長、伊藤副会長、市川委員、高橋委員、保尊委員、那須委員、望月委員、丸山恭弘委員、丸山庄一委員、降旗幸子委員、中山委員、山崎委員、青木委員.....
5	市側出席者.....藤松総務部長、花村総務管理課長、鎌崎総務管理課長補佐、丸山行政担当係長、白澤主査.....
6	公開・非公開の別.....公開.....
7	傍聴人.....1人.....記者.....0人.....
8	会議概要作成年月日.....平成26年10月24日.....
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 (伊藤副会長)</p> <p>(2) あいさつ (降旗会長)</p> <p>(3) 協議事項</p> <p>① 第2回会議録の確認</p> <p>② 前回の資料要望に係る資料の確認について</p> <p>③ 第3次安曇野市行財政改革大綱の方向性について</p> <p>④ その他</p> <p>(4) その他</p> <p>(5) 閉 会 (伊藤副会長)</p>
2	<p>審議概要</p> <p>(1) 第2回会議録の確認</p> <p>(2) 前回の資料要望に係る資料の確認について</p> <p>○安曇野市情報システム管理規程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードの安全性の確保。 ・システムの内部監査の実施。 <p>○情報セキュリティについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入職員以外へのセキュリティ研修は、→職員研修に絡めて実施している。 ・市が保有する情報資産の機密保持について、IS027001に準拠した形での運用が必要ではないか。外部の情報漏えい事件と照らし合わせ、規程が有効かどうか検証する必要があると思う。 ・大綱には情報セキュリティの強化という名目で表記し、時間をかけて議論していくべき。 <p>○区への加入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未加入世帯のデータを見たが、これほどひどいとは思わなかった。未加入の人も区の行事に参加していただくといったことを突破口にやっている区もあるが、市と区がお互いに努力して一体感を醸成していくことが大事である。 ・転入時、住宅等を開発する際、不動産業者や建設業者等にその時点で入居者等に教育していただくような勧誘も必要。 <p>→転入時に区への加入を促す冊子等を配布したり、区長の了解を得て連絡先等の配布も行っている。現在、5地区で方法が統一されていないので、新庁舎開庁までに統一したものでやっていきたい。新しい区を認めるには、他の区と同様に一定の役割を果たしていただく必要がある。補助金をもらうためだけでは認めていく訳にはいかない。</p>

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

○徴税コストについて

- ・未収の税金を徴収するコストがどのくらいかかったのか。
→職員の按分や、滞納分だけにかかる督促状、催告書を分けることはできないため、その部分のコストを出すのは難しいが、全体の徴税コストから見てもコストを抑えながら収納努力はしているということは見られると思う。

○実人口と推計人口の値の違いについて

- ・実際の人口と推計人口に大きな差があるが、その違いは何か。
→推計には国勢調査の数字を使っているため、住民基本台帳は安曇野市にあっても、実際の居住地が別にあるといった方は人口数に含まれていないため、差異が生じている。

○未収金の扱いについて

- ・未収金の処理等について、どこで誰がどう判断するのか。
→通常は5年で時効を迎えるが、差押え等で時効を中断すれば何十年も債権はもっていられる。ただし、法律上どうやっても払えない人からは取ってはいけないことになっているので、実情に応じて不納欠損をしながら債権の処理をしていく。私債権についても、今後債権管理条例を施行するなかで、税と同様の扱いをしていく予定である。

(3) 第3次安曇野市行財政改革大綱の方向性について

○人口減少対策について

- ・入りを量りて出を制する…出を制するは効率化ということで、限られた資源をいかに有効に使うかということ。入りを量りては、人を増やす、企業、法人等の法人個人の来訪者を増やすということ。安曇野市として魅力ある施策を取りながら達成していくことが行政改革の視点として重要な要素である。
- ・地域間競争という観点でみると、いかにユニークな戦略を立てられるかが重要。安曇野市の資源、文化、人的資源といったものを含めながら検討していくべき。

○土地条例について

- ・発布されてから振り返ってみて、意見をもらう中で緩和すべきところは緩和していかなければ、将来的に安曇野市の魅力がなくなっていってしまうので、各方面からの検討が大切である。

○人口増対策の3つの柱

- ・①若者向けの空き家のリニューアル、②遊休農地の提供、③②を支える体制の整備

○本委員会の検討範囲について

- ・委員会名は行政改革推進委員会だが、本委員会で財政部分まで踏み込んでいいのか。
→財政部分も、大きな括りの中での行政改革の1つと考えていただければよい。

○附属機関等の在り方の見直しについて

- ・公募委員の募集について、情報が一元化されていない。一覧表にして提示すべきである。誰かが全体をコーディネートし、チェックする体制を整備したほうがよい。

○第3次安曇野市情報化計画について

- ・具体的に何を安曇野市の情報化としてやろうとしているかわからない。一般市民から見たときに、何をやってくれるのか、もう少しわかりやすくしたほうがよい。

○市が保有する資産（インフラ）について

- ・多くがバブル期の極めて短期間に整備されているので、一気に更新の時期を迎えてしまうと財政的に大

きな負担になる。通常の維持管理のほかに調査検討抽出をして、壊れる前に事前に予算をかけて手を入れ、寿命を延ばす対策が必要ではないか。

○業務継続計画について

- ・大災害が起きた際の業務の継続について検討すべき。膨大な行政の情報を守るため、関連施設を含めてバックアップ体制を構築することが、事業の継続の上で非常に大切になる。

○安曇野ブランドの推進

- ・ホームページを作るにあたって、素晴らしい安曇野の自然を積極的にPRすべき。また、ライブカメラを更新しながら、ライブ映像も効果的に利用したほうがよい。

○市民からの意見、要望の吸い上げについて

- ・市民が思っていることを聞いてもらえるようなポジションや、フォームといった仕組みが必要。新しい建物が出来たが中身が変わらないのでは批判につながるので、市民に対する対応ぶりや意見が寄せられる中で、改善すべきところは改善していくことが良い市政運営になっていくのではないかと思う。

○雪害対策について

- ・防災マップの中に、雪害対策の項目も含めてほしい。

○少子化対策について

- ・国にも担当大臣ができた。安曇野市にも専門の担当があってもいいのではないか。
- ・出産のときに立て替えはあるが、今の若い人たちにはその立て替えるお金がない。安曇野で結婚して出産して、移住定住ができる、そういった1つの流れを部署を作る中で邁進する行財政改革を。
- ・県の施策とも連携する動きがあってもいいのでは。

○区の育成のための財政援助及び空き家対策について

- ・小型除雪機の配備等の援助を区を育成するために行うことで、ある程度区で活用しながら地域の問題を解決できるのではないか。
- ・農林水産業は生計を立てるまでに時間がかかるため、空き家等を利用しながら、援助しながら定着出来るまでにしていくことが都会からの転入を増やすことにつながるのではないか。

○若者が安曇野市へ戻ってくるような教育を

- ・移住してくる人の多くは、退職した高齢者や農業等の援助を期待した、仕事がない若い人たちであり、それだけでは人口問題の解決にはつながらない。若い人たちを呼ぶのであれば、都会へ出て行ってしまいう若者が戻ってくるような環境づくり、また、そのための教育が必要ではないか。

○協働のまちづくりについて

- ・自分たちが住みたいと思う、住み続けたいと思う街をどうやって作るのか。協働のまちづくり、あるいは、まちづくり条例というものは一体何を求めて何をさせようとしているのか。その辺をもう1度確認し大綱の流れとして出してやるべきではないか。

(4) その他 〈次回委員会への要望〉

- ・市が紙で保有する文書量について。
- ・本庁舎建設のスケールメリットによる人員削減の内訳について。

今回の日程・・・11月7日(金)を予定